

# SHIN-KARAJISHI

## KABUSHIKI-KAISHA

男の生きざま見せたるねん。



つみきみほ



永島敏行



山本竜二



隠 赤兎



# 赤井英和

HIDEKAZU AKAI

赤井英和主演 前田陽一監督作品

# 新唐獅子株式会社

CAST: 赤井英和 / つみきみほ / 山本竜二 / 菅田俊 / 柳原真哉 / 三原麻衣子 / 小林サチ子 / 唐沢寿明 / 室田日出男 / 永島敏行  
 STAFF: 製作 山崎浩 企画 岡田裕 原作 小林信彦(新潮文庫・刊) プロデューサー 千葉善紀 / 加谷隆広 / 伊藤直克 脚本 前田陽一 / 北里宇一郎 撮影 高井和洋 照明 小中健二郎 録音 土屋和之 美術 山崎輝 音楽 尾形圭一郎 編集 菊池純一 制作担当 野淵政光 協力監督 南原英夫 / 長濱英高 監督 前田陽一 製作 GAGA PICTURES 制作協力 アルゴ・ビジュアルズ 配給 GAGA(株)キョウ・コミュニケーションズ 配給協力 ゼアリスエンタープライズ 宣伝 アルゴ・ビジュアルズ 1998年 日本作品 / カラー / 91分 / ビスタサイズ / G巻 ©1998 GAGA PRODUCTIONS

## 「わしら、今日からテレビ局を始めるで」



## 「兄貴、極道の世界もコンテンツで勝負でんな！」

小林信彦の人気小説を、喜劇のアルチザン・前田陽一監督が装いも新たに映画化したナンセンス・ハードボイルド

昔かたぎのやくざ・黒田哲夫が6年ぶりにシャバに戻ってみると、バブル崩壊後の社会はすっかり様変わり。古巣の組も暴対法の施行によって共存共栄の平和外交路線に転換し、手広く事業を手掛けている。黒田は須磨の大親分から組の経営するケーブルテレビ局の局長に任命される。慣れない仕事も軌道に乗りかけた頃、正体不明の人物から局に「やくざ狩り」のゲームを開始する予告電話が入った。その言葉どおり、須磨組の組員達は何者かに次々と狙撃されていくが……。

## ◎プログラム・ピクチュアのアルチザン、前田陽一

ストレートよりもシュート。ウエットな悲しみを隠したドライなユーモア。反骨精神とセンチメンタリズムが狂騒的な物語の中に同居する作風が観る者を魅了してやまない前田陽一監督は、デビュー作「にっぽんばらいす」(64年)以来、数々の作品を発表し、「半マジメ精神」で人間の真実の営みを追求し続けた映画作家。最近ではマニアのみならず、ビートルズ映画やゴダールの「気狂いピエロ」のバロディも飛び出すカルト・コメディ「進め! ジャガーズ 敵前上陸」(68年)、チネ・ジャズ風の音楽がカッコいい”和製「黄金の七人」”こと「七つの顔の女」(69年)などで、新しい世代のファンにも注目されている。

## ◎急逝した監督の遺志を継ぎ、映画は完成した

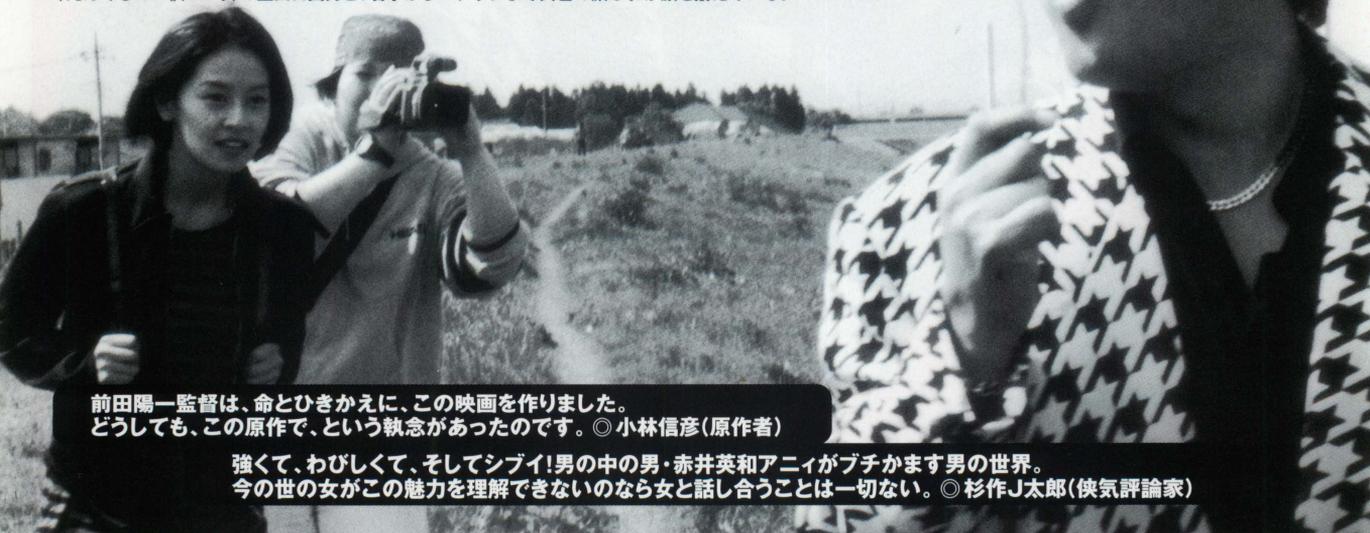
11年ぶりの劇場用映画となる「新・唐獅子株式会社」が実現した前田監督の意気込みと喜びは大きかったが、既にこのとき、監督の体は病魔に蝕まれていた。5月2日の撮影終了後、身体の不調を訴えて緊急入院。その夜、容体が急変し、明け方に逝去。病魔と闘いながら撮影に臨んだ前田監督のカツドウ屋魂に込めるべく、前田組の助監督を10年以上務め数本の共同脚本もある南部英夫監督が名乗りを挙げ、今作のチーフ助監督である長濱英高と共同で演出と仕上げを引き継ぎ、ここに「新・唐獅子株式会社」は完成した。

## ◎ときに笑わせ、ときにせつなく……。これは26本目の前田映画最新作だ

6年ぶりにシャバに戻った黒田の浦島太郎ぶり、やくざが経営するケーブルテレビといった「ツカミ」で笑わせる一方、メディアを利用した犯行というアイデアは海外のウエルメイドなエンターテインメント作品を思わせる。さらに、過去に心に傷を負った者同士である黒田と宮島の奇妙な友情を描いたセンチメンタリズムは、前田作品ならではの「文芸映画を撮らないことが私のプライド」と言っていた監督だけに、「新・唐獅子株式会社」は命を賭して作った遺作というより、プログラム・ピクチュアのアルチザンが作った26本目の最新作という方がふさわしい。

## ◎豪華かつ異色のキャスト

主役は「119」(94年)以来4年ぶりとなる赤井英和。共演は「櫻の園」(90年)のつみきみほ、「タオの月」(97年)の永島敏行、「ニンゲン合格」(98年)の菅田俊、「ホルノスター」(98年)の鷹赤児、「トカレフ」(94年)の山本竜二、「死んでもいい」(92年)の室田日出男と、若手からベテランまで異色の顔ぶれが顔を揃えている。



前田陽一監督は、命とひきかえに、この映画を作りました。  
どうしても、この原作で、という執念があったのです。◎小林信彦(原作者)

強くて、わびしくて、そしてシブイ!男の中の男・赤井英和アニがブチかます男の世界。  
今の世の女がこの魅力を理解できないのなら女と話し合うことは一切ない。◎杉作J太郎(俠気評論家)

’99年3/13(土)~19(金) 限定ロードショー!

1:20 3:10 5:00 6:50 舞台挨拶決定! (1日、朝夜2回上映!!) 赤井英和他予定

特別鑑賞券 ¥1400 絶賛発売中! (当日:一般1700円/学生1400円/中・小・シニア1000円)

3月6日(土)より「前田陽一、喜劇のアルチザン」モーニング&レイトショー 連日、午前11:30と午後9:00

3/6(土)・7(日)「にっぽんばらいす」(1964)/8(月)~10(水)「ちんころ海女っこ」(1965)/11(木)~13(土)「スチャラカ社員」(1966)

14(日)~16(火)「進めジャガーズ・敵前上陸」(1968)/17(水)~19(金)「喜劇・ああ軍歌」(1970) 当日のみ/1200円・シニア1000円

3/13(土) PM11:00  
公開記念特別オールナイト  
料金2600円均一

前田陽一ナイト

「ちんころ海女っこ」「進めジャガーズ・敵前上陸」  
「新・唐獅子株式会社」+ミルクマン斎藤のトークショー

お見逃しなく



ホワイティめだ、泉の広見6番出口北へすぐ

シネ・ヌーヴォ梅田  
TEL.06(6365)0094